



決算説明会資料

2012年3月期 第2四半期

2011年11月10日

*Excellence through
Evolution
End to End solution*

株式会社テリロジー
<http://www.terilogy.com>

JASDAQ
証券コード:3356

2012年3月期 第2四半期 決算説明会資料

■目次

- 2012年3月期 第2四半期累計期間
決算の概要および通期事業の見通し
 1. 2012年3月期 第2四半期 業績の概要
 - ・ 第2四半期累計期間 事業のポイント
 - ・ 第2四半期累計期間 業績の実績
 - ・ 事業部門別業績のポイント
 - ・ マーケット別売上実績
 2. 2012年3月期 通期業績の見通し
 - ・ 通期業績予想について
 - ・ 通期業績の予想数値
 3. 2012年3月期 下期の取り組み
 - ・ 重点ターゲット分野への取り組み
 - ・ 2012年3月期 マーケット別売上予想数値
 4. 目標とする経営指標

2012年3月期 第2四半期決算説明会

2012年3月期 第2四半期累計期間 決算の概要および通期事業の見通し

代表取締役社長
津吹 憲男

2012年3月期 第2四半期 業績の概要

■ 第2四半期累計期間 業績のポイント

第2四半期累計期間は、売上高、利益ともに当初業績予想を大きく上回る。

- 当第2四半期累計期間の売上高は1,378百万円と、前年同期（売上高：1,013百万円、増減率：36.0%増）を上回る売上高を確保。
- 今後成長が期待されるスマートフォン市場に対応するため、移動体通信事業者が投資するネットワーク関連設備案件を受注。
- 東日本大震災の影響によるIT投資抑制を想定するが、製造業を中心とする一般企業向けのネットワーク構築案件などの受注は堅調に推移。
- 利益面は、売上高の増加に伴う増益効果、従業員稼働率向上による人件費抑制、一般管理費の圧縮により、営業利益、経常利益、四半期純利益と、当初の業績予想を大きく上回る。

2012年3月期 第2四半期 業績の概要

■ 第2四半期累計期間 事業の実績

(単位:百万円)	当第2四半期実績 ('11/4-9累計)	前年同期 ('10/4-9累計)	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	1,378	1,013	365	36.0
売上原価	920	730	189	25.9
売上総利益	458	282	175	62.2
販売管理費	401	490	△89	△18.2
営業利益	57	△207	265	-
経常利益	43	△213	256	-
四半期純利益	23	△236	259	-

2012年3月期 第2四半期 業績の概要

■事業部門別業績のポイント①

通信事業者/サービスプロバイダ部門

- スマートフォンなどの急速な普及に伴う、国内移動体通信事業者の公衆無線LANサービスプロジェクト案件では、IPアドレス管理商品の出荷・システム構築の支援作業は概ね計画通り。



- 次世代移動体通信サービス(海外通信事業者向けフェムトセル、国内移動体通信事業者WiMAX)の顧客認証システム、カスタマイズド・ネットワーク・サービス案件の受注は堅調に推移。

2012年3月期 第2四半期 業績の概要

■事業部門別業績のポイント②

エンタープライズ部門（ファイナンス営業部門）

- アジア・パシフィック地域の金融証券市場をターゲットに、香港オフィス開設に向けた準備。
 - 7月：デモとプレゼンテーションを実施するCoE (Center of Excellence) デモセンターを東京本社に設置。
 - 9月：証券取引関係者向けのセミナーを香港で開催。

- 証券取引所や外資系証券会社など、次世代株式売買システム(アルゴリズムトレーディング)向けのネットワークモニタリング案件は増加傾向に。

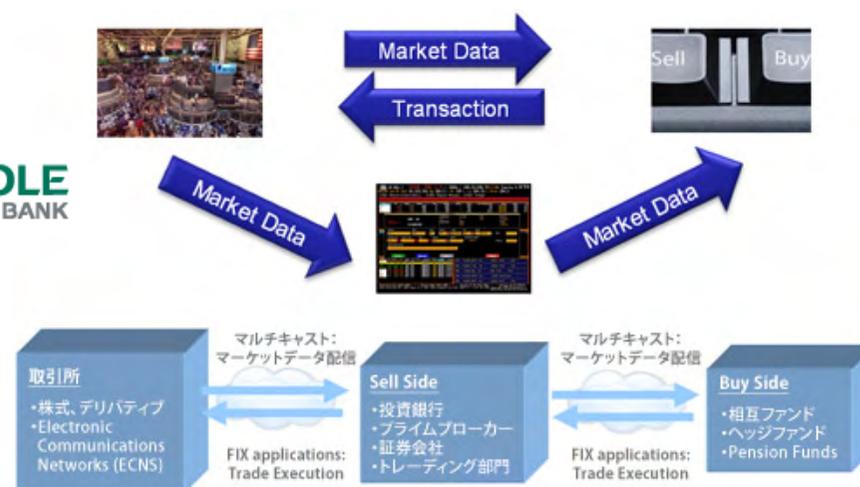
- Investment Banking



- Insurance



- Market Data



2012年3月期 第2四半期 業績の概要

■事業部門別業績のポイント③

エンタープライズ部門（エンタープライズ営業部門）

- 東日本大震災の影響によるIT投資抑制を想定するが、製造業を中心とする一般企業向けネットワーク構築案件などの受注は堅調に推移。
- 多地拠点間でのビデオ会議システム導入、IPアドレスマネジメント商品を含むネットワーク構築案件など。



ビデオ会議システムのTANDBERG製品は、高解像度(HD)技術のより、高品質な映像と音声で臨場感ある双方向コミュニケーションを実現します。

2012年3月期 第2四半期 業績の概要

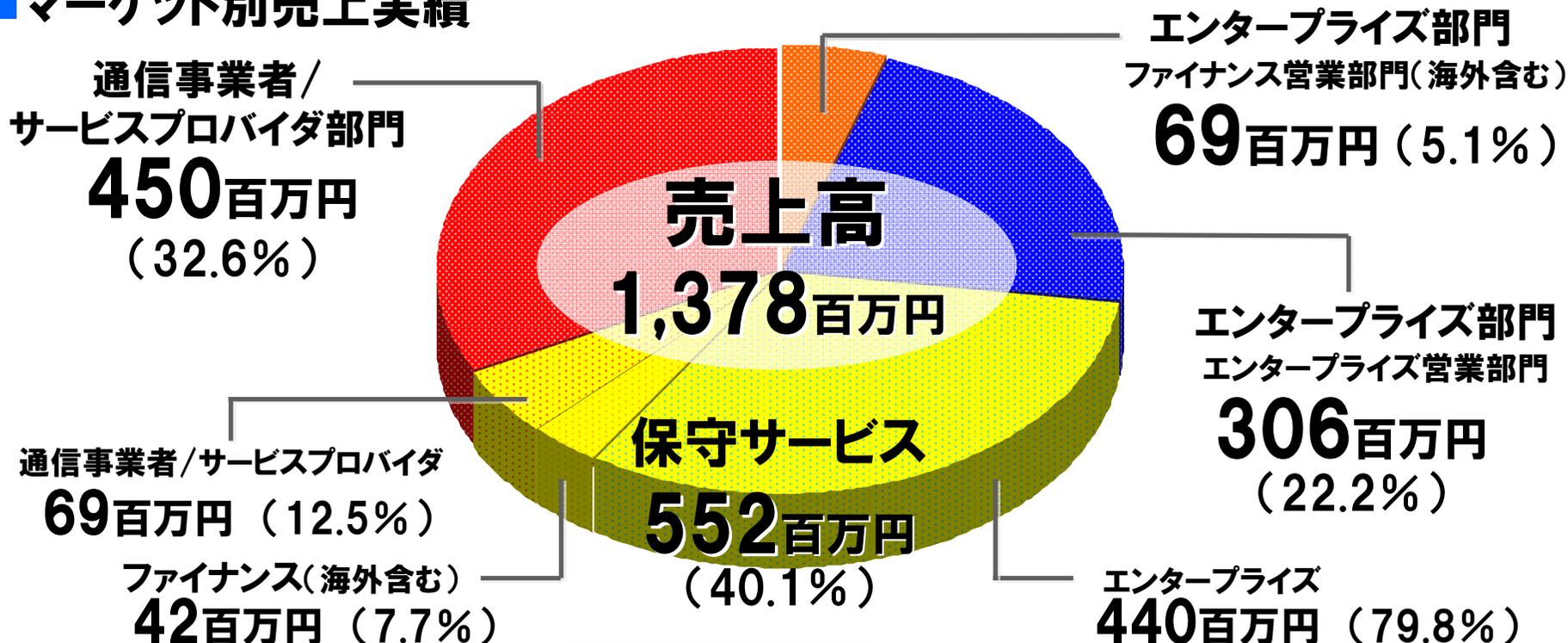
■事業部門別業績のポイント④

保守サービス部門

- **安定的な収益基盤である保守サービス売上は堅調に推移。**
(売上高全体の約4割を占める)
- **保守業務内製化による業務委託費削減、既存顧客の保守契約更新率の向上など、高収益体質の確立に努める。**

2012年3月期 第2四半期 業績の概要

■マーケット別売上実績



(単位:百万円)	当第2四半期実績 ('11/4-9累計)	前年同期 ('10/4-9累計)	前年比	
			増減額	増減率(%)
通信事業者/サービスプロバイダ部門	450	112	337	298.6
エンタープライズ部門	376	382	△6	△1.6
保守サービス部門	552	518	33	6.5

2012年3月期 通期業績の見通し

■通期業績予想について

現時点では、通期業績予想における修正はおこないません。

※通期の業績予想につきましては、当社を取り巻く経営環境が不透明であることから、通期売上高および利益予想の修正はおこなっておりません。

※2011年度の期末配当につきましては、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2012年3月期 通期業績の見通し

■通期事業の予想数値

(単位:百万円)	2012年3月期 通期事業予想	2011年3期 事業実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	2,800	2,402	398	16.6
売上総利益	934	681	253	37.2
販売管理費	884	833	51	6.1
営業利益	50	△152	202	-
経常利益	50	△178	228	-
当期純利益	50	△293	343	-

※通期の業績予想につきましては、当社を取り巻く経営環境が不透明であることから、通期売上高および利益予想の修正はおこなっておりません。

※2011年度の期末配当につきましては、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2012年3月期 下期の取り組み

■重点ターゲット分野への取り組み

重点ターゲット分野	市場動向	アクション
<p>通信事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■スマートフォン普及に伴う、通信量増大の対応 <ul style="list-style-type: none"> ●急増するスマートフォン需要(Wi-Fiの拡大) ●定額制から従量課金へのシフト 	<p>QoEお客様 体感品質向上 ソリューション</p>
<p>ファイナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■新たな超高速株式取引の到来 <ul style="list-style-type: none"> ●アルゴリズムトレーディングのモニタリング対応 ■グローバルに広がる事業展開(香港オフィスの開設) 	<p>次世代株式売買 システムの 監視ソリューション</p>
<p>エンタープライズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■大手企業、政府機関などを狙ったサイバー攻撃 <ul style="list-style-type: none"> ●高度化・多様化する攻撃手法への対策 ■事業継続計画(Business Continuity Plan) 	<p>大手製造業など、 主要顧客に向けた 企業内セキュリティ の強化</p>

2012年3月期 下期の取り組み

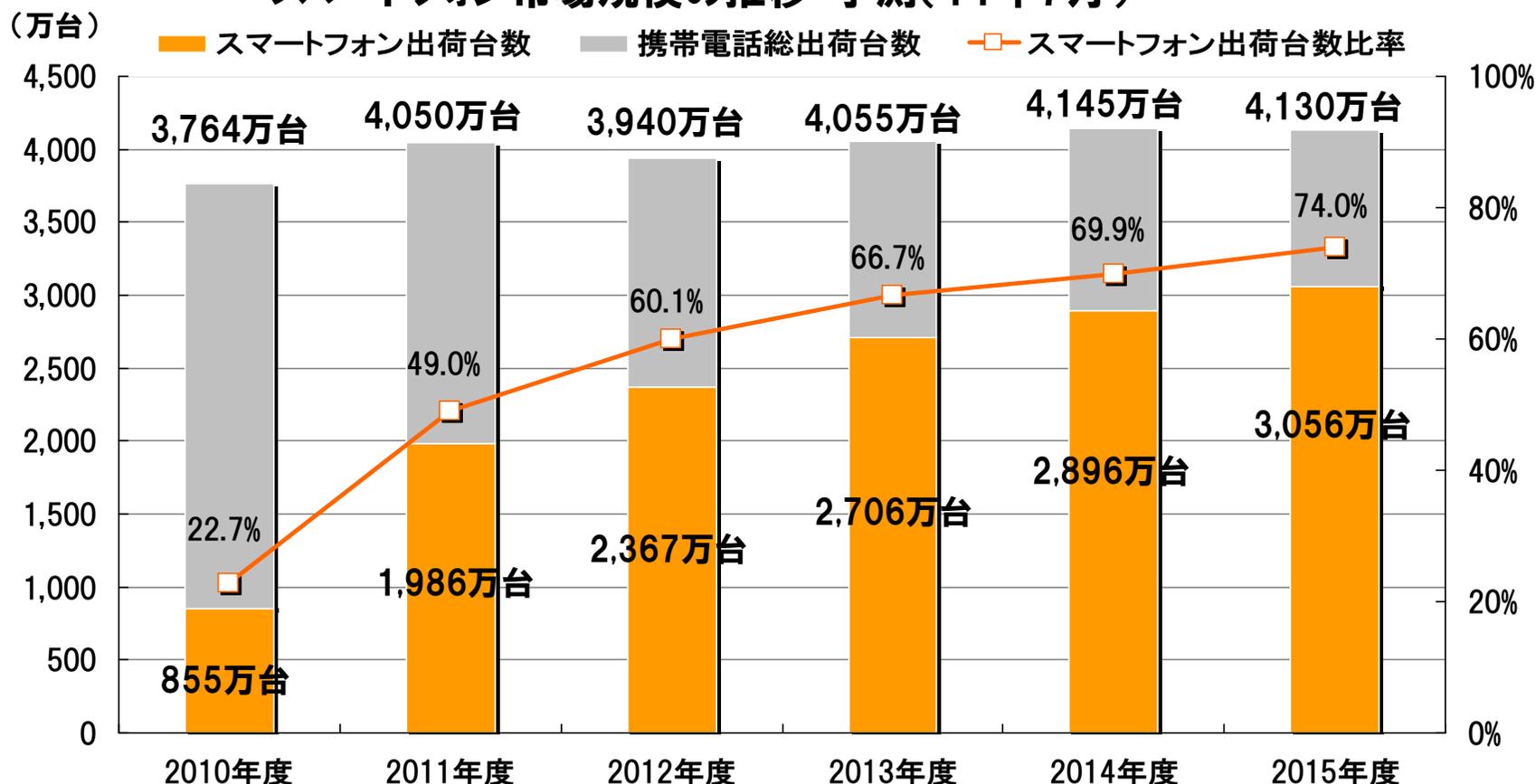
■重点ターゲット分野への取り組み

重点ターゲット分野	市場動向	アクション
<p>通信事業者</p>	<p>■スマートフォン普及に伴う、通信量増大の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●急増するスマートフォン需要(Wi-Fiの拡大) ●定額制から従量課金へのシフト 	<p>QoEお客様 体感品質向上 ソリューション</p>
<p>フィス</p>	<p>■新たな超遠距離取引の到来 アルゴリズム取引のモニタリング対応 グローバル市場が展開（香港の関与）</p>	<p>世代別販売 監視システム</p>
<p>エーイ</p>	<p>■企業、政府関係なを狙ったサイバー攻撃 度多くなる手法の 事業継続計画（BCP）</p>	<p>大企業製造など 顧客に向けた サービス</p>

スマートフォン普及に伴う、通信量増大の対応

■急増するスマートフォン需要(Wi-Fiの拡大)

スマートフォン市場規模の推移・予測(11年7月)



2012年度には出荷台数(2,367万台)でスマートフォンが過半数を超えると予測。
従来型の携帯電話に比べ、1人当たりの通信量が10~20倍に増える傾向に。

出典：(株) MM総研 [東京・港] スマートフォン市場規模の推移・予測(11年7月)

Copyright (C) 2011 Terilogy Co., Ltd. All rights reserved

スマートフォン普及に伴う、通信量増大の対応

国内移動体通信サービスのトレンド

3G携帯 (現在)	WiMAX	次世代高速通信 「LTE※」 (3.9G/Super 3G)	公衆無線LAN 「Wi-Fi」	携帯大手3社は、 10万スポット規模に 無線LANエリアを拡充
移動体通信事業者 NTTドコモ au(KDDI) SoftBankモバイル	移動体通信事業者 UQコミュニケーションズ (KDDI)	移動体通信事業者 NTTドコモ au(KDDI) SoftBankモバイル イー・モバイル	移動体通信事業者 NTTドコモ au(KDDI) SoftBankモバイル	NTTドコモ ドコモ公衆無線LAN ・約6,800ヵ所(現在) (2012年上期までに 約3万ヶ所へ) ・投資金額:1~2百億円
通信速度 下り最大:14.4Mビット/秒 上り最大:5.8Mビット/秒 ※HSPA方式の場合	通信速度 下り最大:40Mビット/秒 上り最大:10Mビット/秒	通信速度 下り最大:100Mビット/秒 上り最大:50Mビット/秒	通信速度 最大54Mビット/秒 IEEE802.11b/g規格に準拠	au(KDDI) au WiFi SPOT ・約3万ヶ所(現在) (2012年3月末までに 10万ヶ所へ) ・投資金額:数百億円
・電話 ・メール ・ワンセグ	・インターネット ・メール ・リアルな動画配信 ・リアルな電話会議	・電話 ・メール ・リアルな動画配信 ・リアルな電話会議	・インターネット ・メール ・リアルな動画配信 ・リアルな電話会議	SoftBankモバイル ソフトバンクWi-Fiスポット ・約10万ヶ所(現在) ・投資金額:未発表 (設備投資全体で1兆円/2年)

※ LTE(Long Term Evolution)とは、光ファイバー並みの高速通信が可能な次世代携帯サービスのこと。最大データ伝送速度100Mbps/秒の高速通信を目指し、3Gの標準化プロジェクト「3GPP」が標準化を進めている。

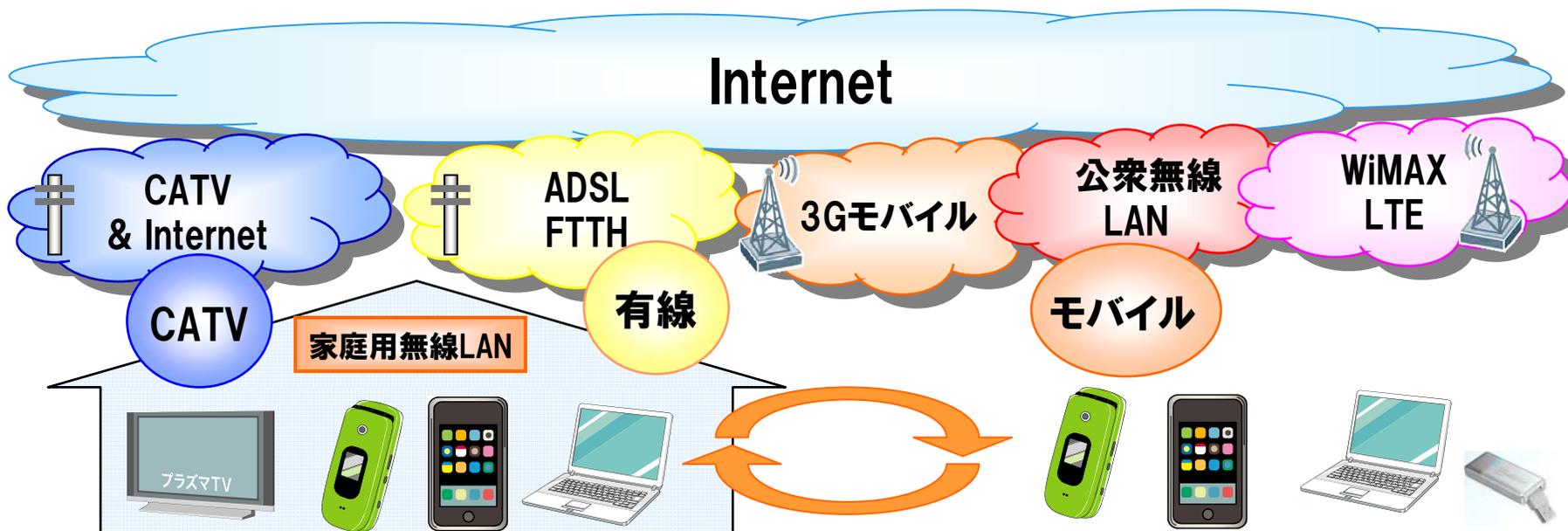
※ WiMAX(Worldwide Interoperability for Microwave Access)とは、高速ワイヤレスインターネットです。カフェなどスポットで利用される無線LANとは異なり、広いエリアで利用可能となるので、外出先や移動中も高速インターネットを楽しむことが可能になります。

※ AAAとは「トリプルA」と呼ばれ、業界での強固なセキュリティ基盤の仕組みである。A(Authorization 認可)、A(Authentication 認証)、A(Accounting 課金)

スマートフォン普及に伴う、通信量増大の対応

■スマートフォンによるモバイル市場の急激な変化

スマートフォンの普及による動画コンテンツ需要拡大により通信トラフィックが増大。
各通信事業者では、加入者単位の体感品質「QoE:Quality of Experience」が課題に。



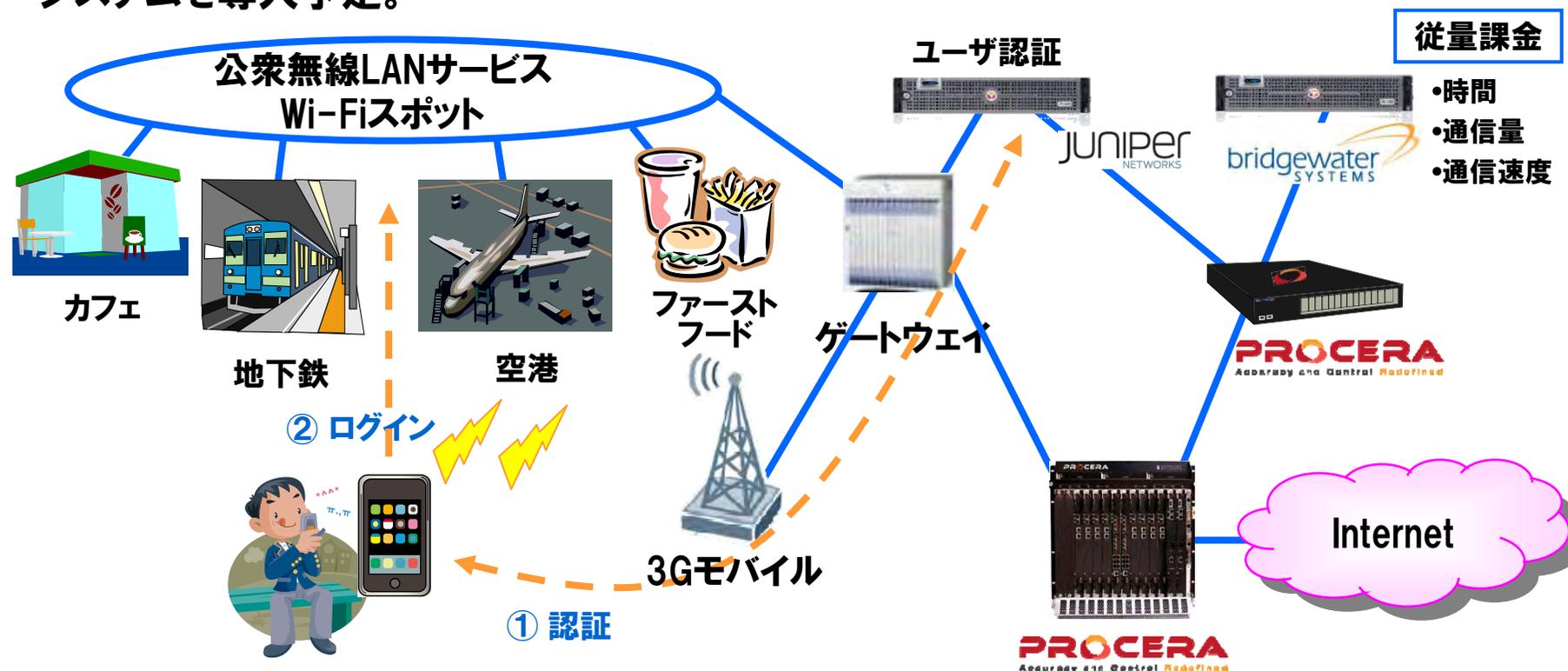
サービス加入者単位の満足度向上分析ソリューションを通信事業へ提供

<p>NEW</p> <p>Foci Foci Incorporated</p> <p>パフォーマンス管理 ソフトウェア</p>	<p>bridgewater SYSTEMS</p> <p>ポリシーコントロール</p>	<p>JUNIPER NETWORKS</p> <p>AAAユーザ認証</p>	<p>NETSCOUT.</p> <p>パフォーマンス管理</p>	<p>ANAGRAN</p> <p>フローコントロール</p>	<p>SAGEMCOM</p> <p>サービス加入者 管理ソフトウェア</p>	<p>Infoblox</p> <p>IPアドレス管理</p>
--	---	--	--	--	--	--

スマートフォン普及に伴う、通信量増大の対応

■ 定額制から従量課金へのシフト

スマートフォンの普及によりデータ通信量が急激に増加。大手通信事業者は従量課金システムを導入予定。



- 業界最先端のディープパケットインスペクション(DPI)技術を利用し、トラフィックの可視化と多角的なパケットの分析(Procera製品)および、課金システムとの連携。
- ユーザ認証(Juniper製品)に紐付いたサービスポリシー (bridgewater製品)で課金システムと連携。

2012年3月期 下期の取り組み

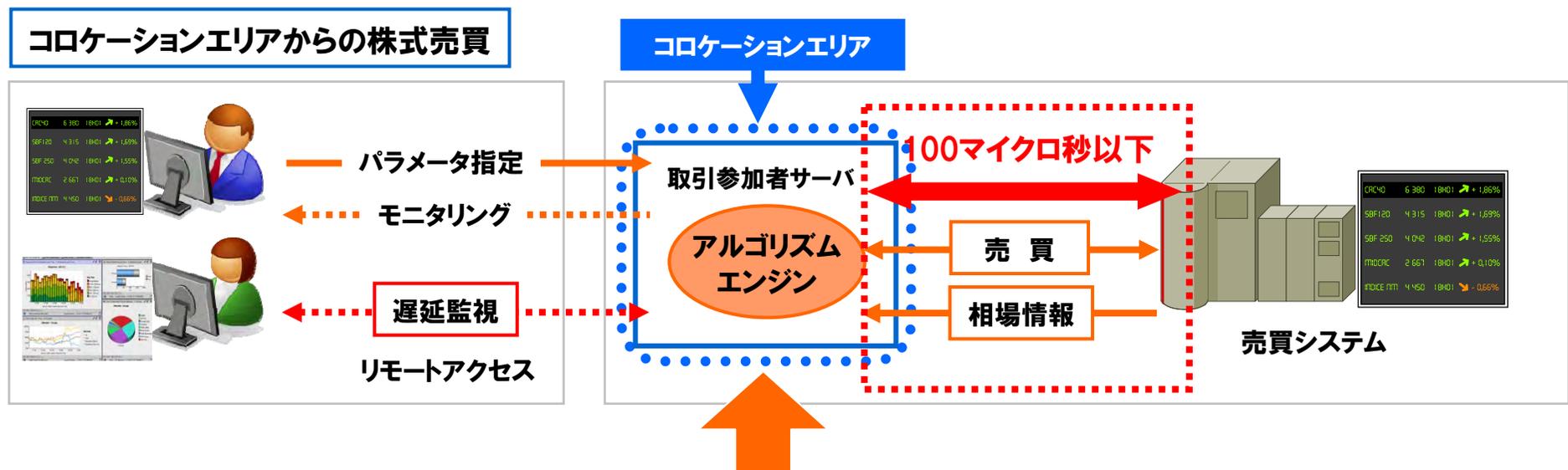
■重点ターゲット分野への取り組み

重点ターゲット分野	市場動向	アクション
<p>事業</p>	<p>■スマートフォン普及に伴い、通信量大対応 月額制から従量課金への移行 対応 (Wi-Fi)</p>	<p>の感 ソリューション</p>
<p>ファイナンス</p>	<p>■新たな超高速株式取引の到来 ●アルゴリズムトレーディングのモニタリング対応 ■グローバルに広がる事業展開(香港オフィスの開設)</p>	<p>次世代株式売買 システムの 監視ソリューション</p>
<p>エタプス</p>	<p>■手企高度化多 業 績 画 Buie niu In なを狙たサバー する攻撃手法の対策</p>	<p>製な 要顧に向けた 企業セキュテ 強化</p>

新たな超高速株式取引の到来

■ アルゴリズムトレーディングのモニタリング対応

株式取引の応答時間が数ミリ秒(1,000分の1秒)から数マイクロ秒(百万分の1秒)へ



CoE (Center of Excellence) が提供する次世代株式売買システムのモニタリング

<p>NEW</p> <p>レイテンシーモニタリング</p>	<p>NEW</p> <p>低遅延タップ</p>	<p>NEW</p> <p>低遅延タップ</p>	<p>NEW</p> <p>マネジメントコンソール</p>	<p>パケットキャプチャ</p>
---------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	------------------

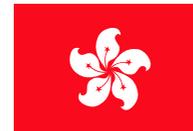
※コロケーションサービスとは、取引参加者の自動発注サーバなどを証券取引所の売買システム、相場報道システムと同じサイトに設置することで、相場情報の受信時間、発注した注文の送信時間を極小化、情報配信方法の多様化や注文発注の柔軟性を高めるサービス。

グローバルに広がる事業展開

■アジア・パシフィック地域の金融証券市場に向けて香港オフィスを開設

商 号 : Terilogy Hong Kong Limited (仮称)

所在地 : 中華人民共和国香港特別行政区



取締役 : 宮村信男 (取締役事業本部長)
津吹達也 (事業本部ファイナンス営業部長)

資本金 : HK\$1,000,000(予定)

大株主及び
持株比率 : 株式会社テリロジー100%出資により設立

設立予定日 : 平成23年11月(予定)

事業内容 : 1.香港における現地金融企業のモニタリングサービスに向けたネットワーク機器の販売ならびに、企業内情報通信システム構築・保守業務。
2.現地企業との協業による一般企業に向けたネットワーク機器の販売を含むアジア市場の開拓。



2012年3月期 下期の取り組み

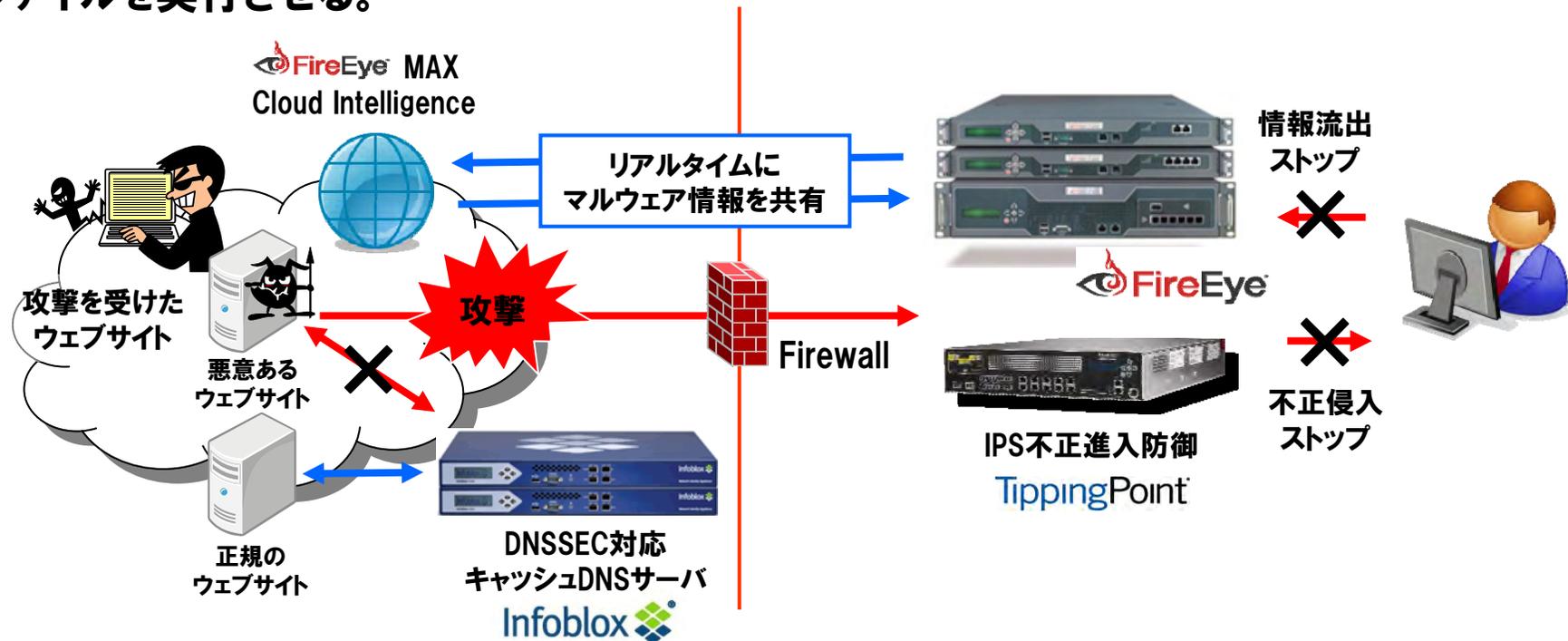
■重点ターゲット分野への取り組み

重点ターゲット分野	市場動向	アクション
通業者	ストックの普及、信量の対 ●急するマーフ需（ト）拡大） ●制が量課へのシト	のお客様 体品向上 ソリューション
アナ	高株の アリトインのタグ バに広事業開港スの設	世株式買 ス ソリューション
エンタープライズ	<ul style="list-style-type: none"> ■大手企業、政府機関などを狙ったサイバー攻撃 <ul style="list-style-type: none"> ●高度化・多様化する攻撃手法への対策 ■事業継続計画(Business Continuity Plan) 	大手製造業など、 主要顧客に向けた 企業内セキュリティ の強化

大手企業、政府機関などを狙ったサイバー攻撃

■ 特定組織などに標的を定めた攻撃が急増中

特定の組織、特定の部署、そして特定の人物を狙い撃ちにする標的型攻撃の多くは、標的とした企業・組織の従業員にウイルス添付メールを送信し、言葉巧みにウイルスファイルを実行させる。



- 明らかな不正・脅威・攻撃を遮断する侵入防御装置(TippingPoint製品)の導入。
- DNSのキャッシュを悪用して、悪意あるサイトへ誘導するDNSキャッシュポイズニングの対策。

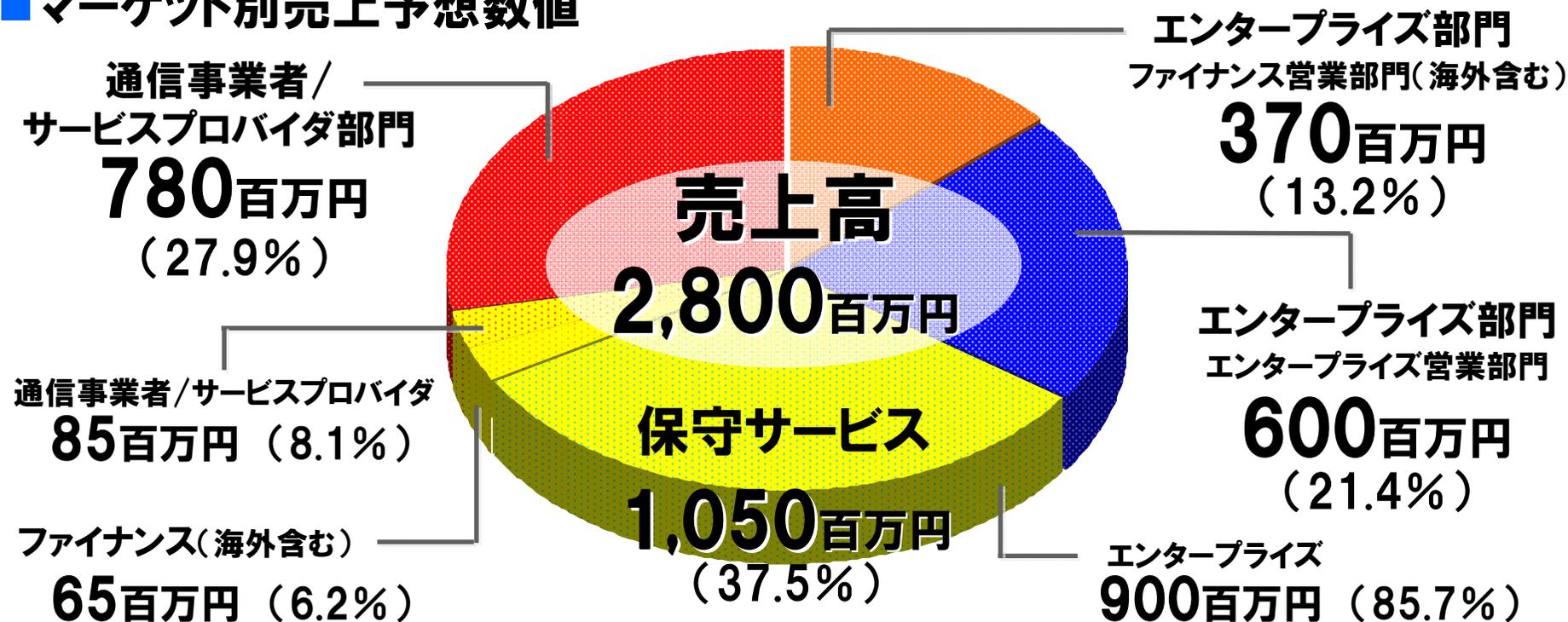
企業の事業継続計画への支援

■BCP(事業継続計画)ソリューションマップ

BCP 事業継続計画						
	有事	輪番停電	縮退稼動	在宅勤務	情報端末の 多様化	海外移設
 IPアドレス管理	Grid (分散配置) Net MRI					
 セキュリティ対策	データセンターへの移設に伴う、情報漏えい対策					
 テレビ会議システム	安否確認			テレワーキング		
 リモート運用管理	デジタルKVMスイッチ リモート管理					リモート管理
 仮想化環境の障害管理	仮想デスクトップ環境(VDI)モニタリング					
 パフォーマンス管理 ソフトウェア	データセンタートラフィックの集中 10Gネットワークのモニタリング					

2012年3月期 通期業績の見通し

■マーケット別売上予想数値

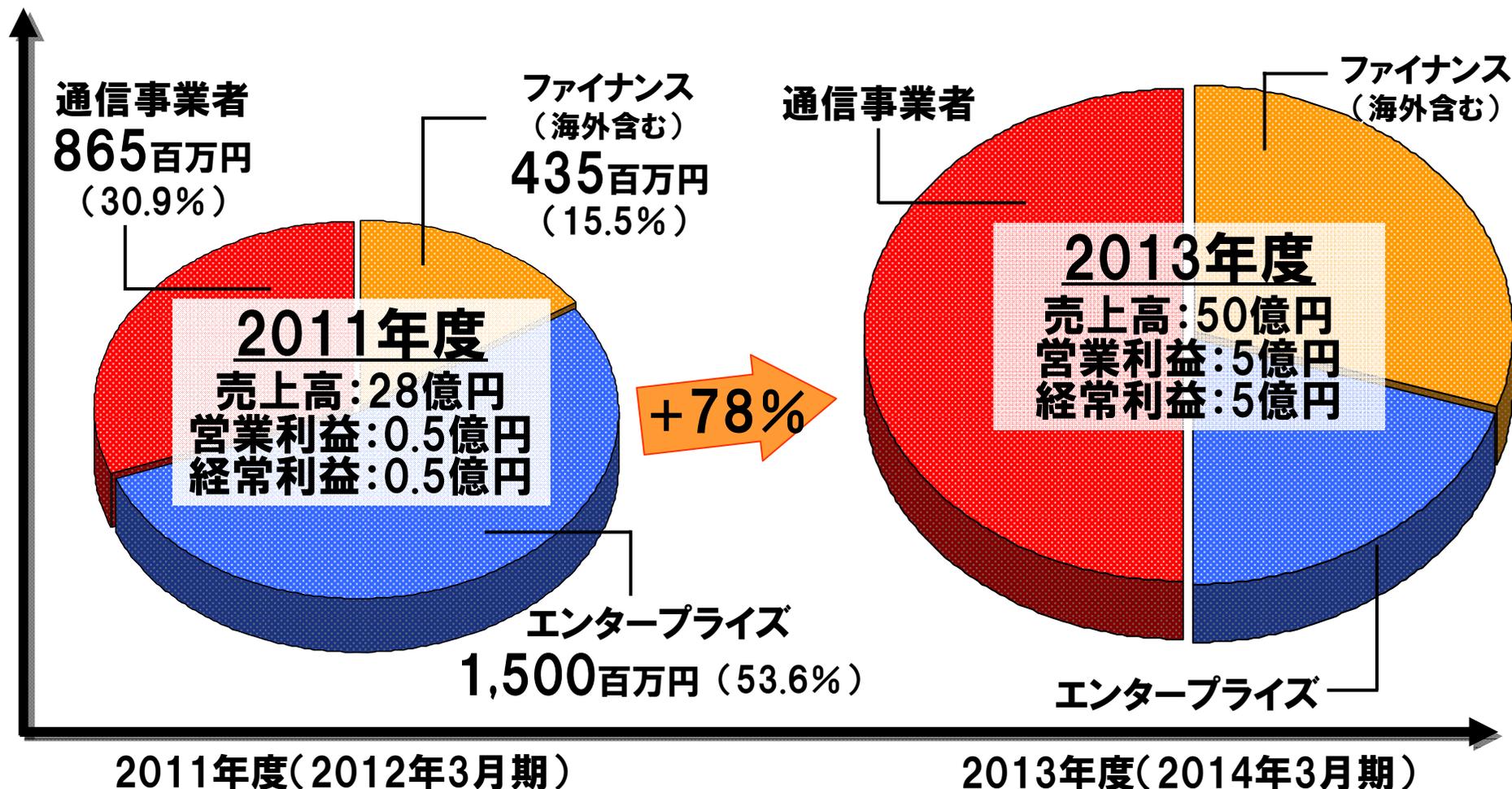


(単位:百万円)	2012年3月期 通期業績予想	2011年3期 事業実績	前年比	
			増減額	増減率(%)
通信事業者/サービスプロバイダ部門	780	345	435	126.1
エンタープライズ部門	970	1,010	△40	△4.0
保守サービス部門	1,050	1,045	5	0.5

目標とする経営指標

■ 売上の規模を拡大するのではなく、**収益性に注力**。

2013年度(2014年3月期)には**営業利益率10%**を目指す！



IRに関するお問い合わせ先

経営企画本部

広報宣伝・IR担当 齋藤

TEL:03-3237-3291 FAX:03-3237-3293

E-mail: ir@terilogy.com



[免責事項]

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。